

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年3月9日（木）

2 確認箇所

ブルータンクエリアB、C

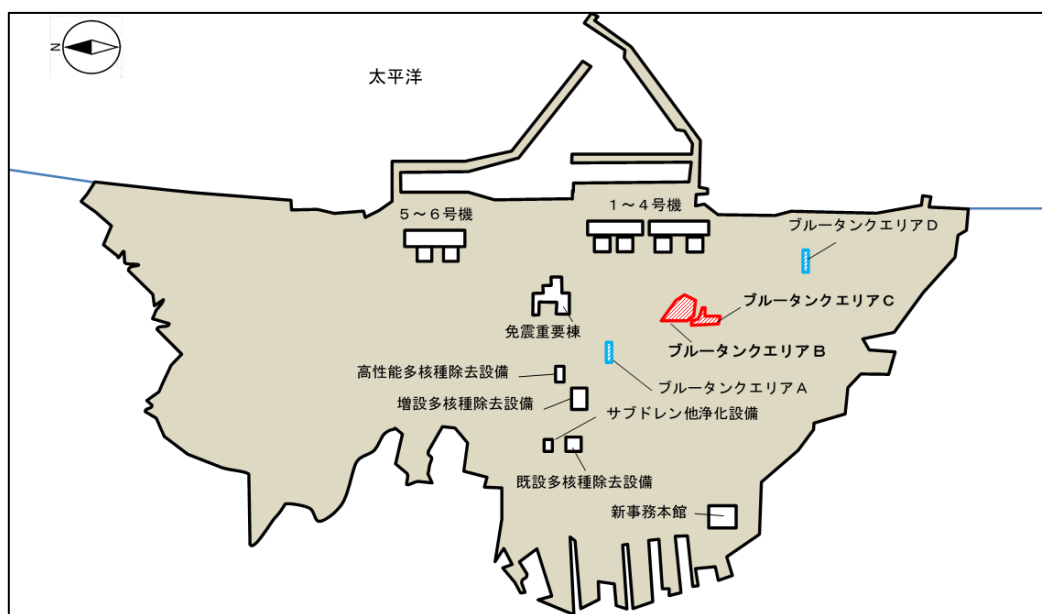
3 確認項目

横置き型ブルータンクの保管状況

4 確認結果の概要

溶接型タンクへのリプレースに伴い撤去された横置き型ブルータンク（以下「ブルータンク」という。）は、構内4箇所（ブルータンクエリアA～D）に保管されている。今回は、1～4号機周辺防護区域内にあるブルータンクエリアB及び周辺防護区域外にある3箇所のうち、表面線量率の高いブルータンクを保管しているブルータンクエリアCの現況を確認した。（図1）（前回確認 ブルータンクエリアB：令和3年12月7日 ブルータンクエリアC：令和5年3月2日）（図1）

- いずれのブルータンクエリアも、関係者以外が立ち入らないように、単管パイプによる区画が設置されるとともに、立入禁止の標示が設置されていた。（写真1）
- いずれのブルータンクエリアも、タンクは2段積みで保管されており、確認した範囲では、下段のタンクと台座等を固定するボルト等に緩みや欠損は認められず、下段のタンクと上段のタンクを固縛するベルトにも破損等は認められなかった。また、保管されているタンク下部のフランジ養生にも異常は見受けられなかった。（写真2）
- ブルータンクの表面には錆が生じているものもあったが、破損等は見られなかった。ブルータンク表面や周辺の地表面の表面線量率を測定したが、確認した範囲でタンクから周囲への漏えい等の異常は確認されなかった。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
ブルータンクエリアB入口の状況



(写真1-2)
ブルータンクエリアCのバリケード
の状況



(写真2-1)
ブルータンクエリアBの外観



(写真2-2)
ブルータンクエリアCの外観



(写真2-3)
ブルータンクエリアBの台座固定の例



(写真2-4)
ブルータンクエリアCの台座固定の例



(写真3-1)
ブルータンク表面の劣化状況の例



(写真3-2)
ブルータンク周辺の地表面の線量率
測定の例

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。